
豊岡市地域デザインプラン

【但東地域】



令和4年（2022年） 3月

地域デザイン懇談会の経過（但東地域）

開催日	会場・人数	テーマ	概要	議事概要	
				WSの結果	アンケートの結果
第1回 3月20日 (土) 9:30～	■会場: 但東市民センター ホール ■参加者人数: 22名	公共施設 に対する 意識共有	地区別(4テーブル) に分かれて、但東地 域にある公共施設 を、5つの指標を用い て定性的に評価し た。	・各施設への定性的な評 価が比較された。 ・地区ごとの評価や利用 状況等に対する意見が あった。	・公共施設マネジメントに ついて概ね理解できた という意見が多かった。 【自由意見抜粋】 ・但東地域について語り合 えたのが良かった。等
第2回 7月4日 (日) 9:30～	■会場: 資母地区 コミュニティセンター ■参加者人数: 13名	ライフス タイルイメ ージの確認	地区別(3テーブル) に分かれて、公共施 設と自身の生活との 関わりから課題を整 理した。	・スポーツ施設や博物館 への意見が多くあった。 ・施設(ハコ)に対する意 見より、施設(サービ ス)に対する意見が多く あった。	・取り扱いが気になる施設 として学校教育施設や子 育て支援施設が挙げら れた。 【自由意見抜粋】 ・地域を見直す良い意見 が出たように思う。等
第3回 8月4日 (水) 19:00～	■会場: 高橋地区 コミュニティセンター ■参加者人数: 13名	必要な施 設、市民 サービスの 整理	年齢別(4テーブル) に分かれて、公共施 設の機能集約に向け て具体的に対話し た。	・スポーツ施設、博物 館、温泉施設への意見 が多かった。 ・機能統合の方法や、そ れぞれの施設を連携し てサービスを向上する などの意見があった。	・スポーツ施設(体育館) に関する意見が多か った。 【自由意見抜粋】 ・難しかった、真剣に考え ると良い意見が出た。 等
第4回 10月6日 (水) 19:00～	■会場: 但東健康福祉 センター ■参加者人数: 17名	必要な施 設、市民 サービスの 整理	年齢別(4テーブル) に分かれて、施設の 平面図を用い、機能 集約に向けて具体的 に対話した。	・産業系施設の廃止や 統合、老朽化が進んで いるスポーツ施設を廃 止などの意見があっ た。 ・3地区をそれぞれの機 能に特化したゾーンに 区分するという意見が あった。	【自由意見抜粋】 ・廃止なのか継続なのか ではなく、細かなところ まで話げできた。 ・具体的にどうすればいい かという案は出せな かったが、但東を良く したいという思いが 分かった。等
第5回 11月2日 (火) 19:00～	■会場: 資母体育館 ■参加者人数: 11名	公共施設 再編モデ ルケース の検討	年齢別(2テーブル) に分かれて、公共施 設の削減目標を意 識した、公共施設の あり方について対 話した。	・温泉施設や博物館等 の施設について、民間 運営を検討するという 意見があった。 ・老朽化したスポーツ施 設を廃止し、学校の体 育館と共用するという 意見があった。	【自由意見抜粋】 ・面積削減の話し合いは 難しい。民間に引き受 けてもらう方向がよい。 ・色々な意見が聞けて 勉強になった。時間 が足りない。等
第6回 12月5日 (日) 10:00～	■会場: シルク温泉 やまびこ ■参加者人数: 23名	但東地域 デザイン プラン案 の作成	年齢別(4テーブル) に分かれて、公共施 設のあり方について 、これまでのアイデア を踏まえて対話し た。	・各公共施設のアイ デアに対するコンセプト や、まとめについて対 話をを行った。	・公共施設に関する考 え方は、変わった、や や変わったという回答 が回答全体の約8割 あった。 【自由意見抜粋】 ・みんなが真剣に考 え意見を出し合った。 等

豊岡市地域デザインプラン素案【但東地域】

目次

1.	地域デザインプラン作成の趣旨	1
(1)	豊岡市の公共施設の現状と課題	
(2)	地域デザイン懇談会の趣旨	
(3)	地域デザインプラン作成の趣旨	
2.	公共施設と共に歩む市民生活の将来像	3
3.	地域デザイン懇談会で生まれた公共施設へのアイデア	6
(1)	アイデア一覧	

1. 地域デザインプラン作成の趣旨

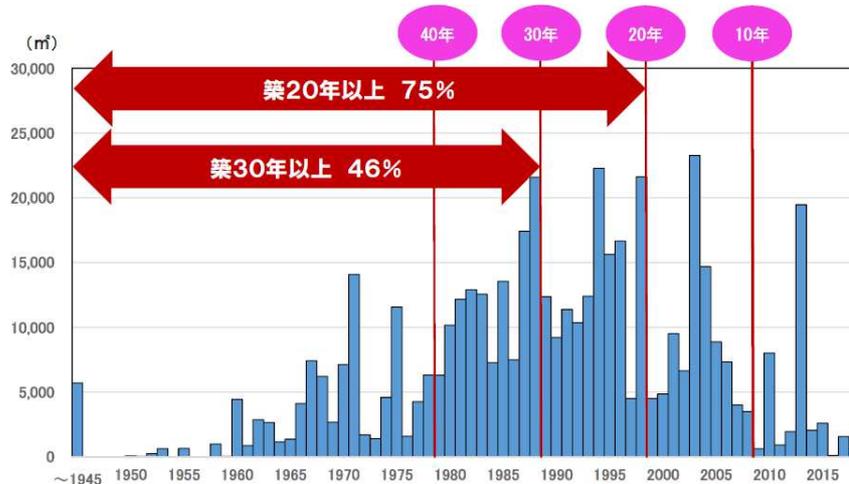
(1) 豊岡市の公共施設の現状と課題

■人口減少による財政への影響

- ・ 働き盛り世代の減少により税収が減少し、また市町合併で優遇されてきた普通交付税が縮減となった。今後、建替えなどに対する財源が一層不足する。

■保有量が多く老朽化する施設

- ・ 574 施設、総延床面積 48.7 万㎡(市民一人当たり 5.6 ㎡)を保有している。
- ・ 築 30 年を経過した公共施設が 2019 年時点で 46%あり、10 年後にはその割合が 75%になるため、今後多くの施設で改修や建替えの時期が到来する。
- ・ 現在の施設をそのまま維持・更新する場合の費用を試算すると、今後 40 年間で総額 1,828 億円(年平均約 46 億円)が必要となる。



公共施設の築年別整備状況

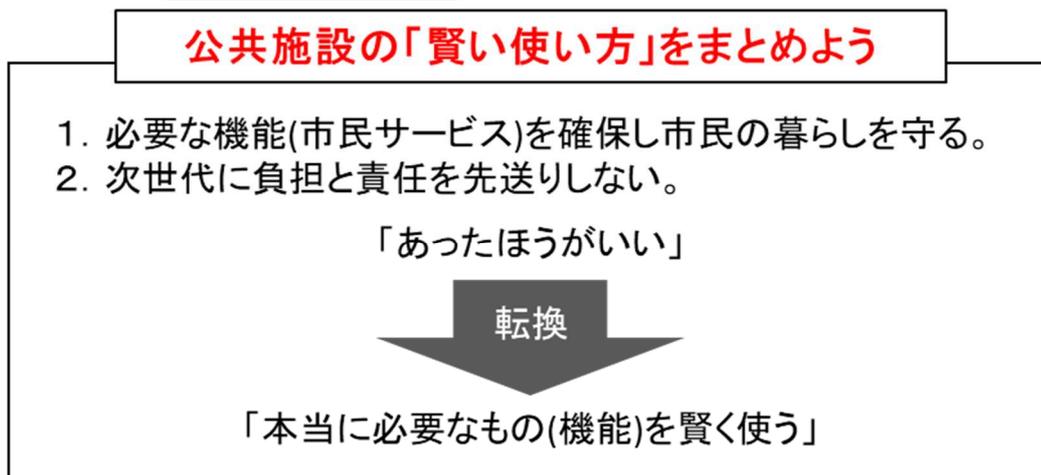
■施設保有量の数値目標

- ・ 施設の更新に必要な約 46 億円に対して、充当できる経費は 21.2 億円/年(長期財政見通し (2016 年 5 月公表)から試算)である。
- ・ 不足額の解消のためには、長寿命化(施設を有効活用して長く使用)とあわせて、40 年間で公共施設の延床面積を 34%削減することが必要となる。

今後の方針	条件	1年あたりの更新費用	40年間の更新費用の総額
長寿命化＋ 延床面積の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建替え 80 年 ・ 大規模改修 40 年 ・ 延床面積 34%削減 	21.2 億円	849 億円

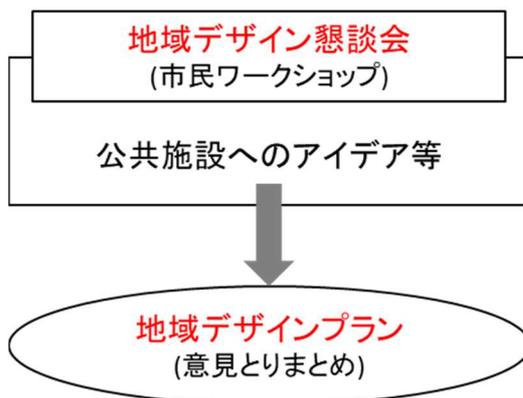
(2) 地域デザイン懇談会の趣旨

地域のまちづくりや賑わいづくりを見据えながら、地域に必要な施設・公共サービス提供機能について、ワークショップを通して対話を行うため、旧市町単位を基本に地域デザイン懇談会を開催した。



(3) 地域デザインプラン作成の趣旨

地域デザイン懇談会(市民ワークショップ)での対話を通じて生まれた、地域内の公共施設へのアイデア等を、地域デザインプランとしてとりまとめ、今後の協議やプラン推進に活用する。



2. 公共施設と共に歩む市民生活の将来像

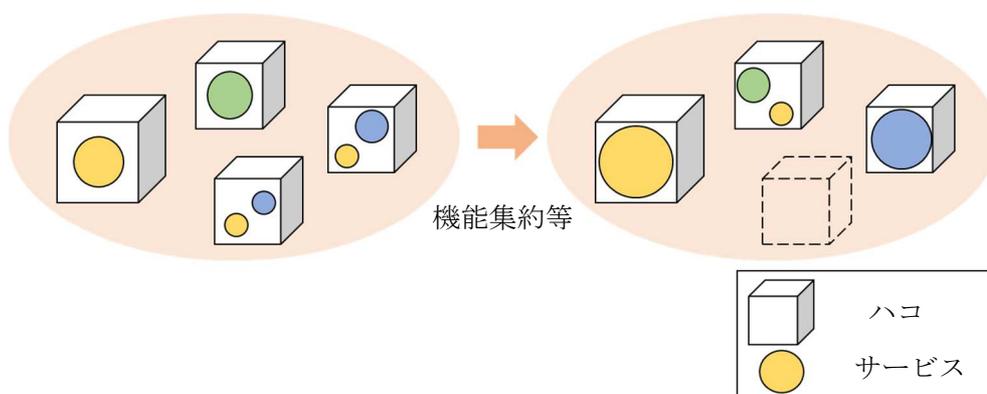
■これからの将来像「市全体」

公共施設をスリム化しよう！

～無駄を減らし、心豊かに生きていくための小さな工夫を集めよう～

■基本的な考え方

公共施設のハコは減らしても、サービス(機能)は減らさない。



■スリム化のポイント

本来の目的である「公共施設の費用の削減」のために、「公共施設の面積の削減」を指標として代用し、公共施設のスリム化を考える。

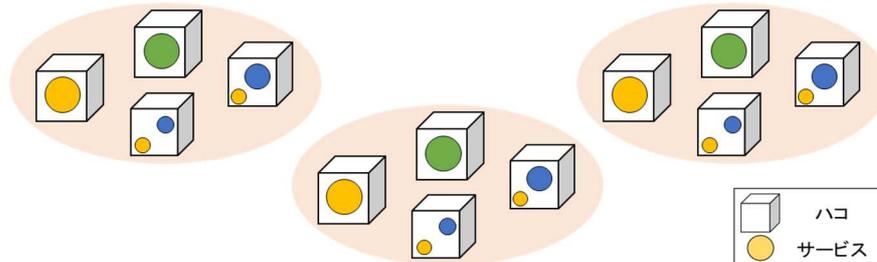


- 面積が減った割に費用が削減されない
- 面積が減った以上に費用が削減される

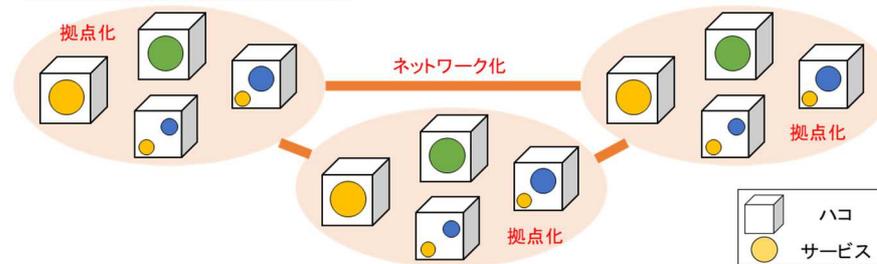
■これからの方向性

公共施設のスリム化のために、それぞれの公共施設の拠点化と機能のネットワーク化を図ることで、機能集約等が進み、公共施設のハコは削減され、本当に必要な機能のみが公共施設に残る。

STEP1 現状



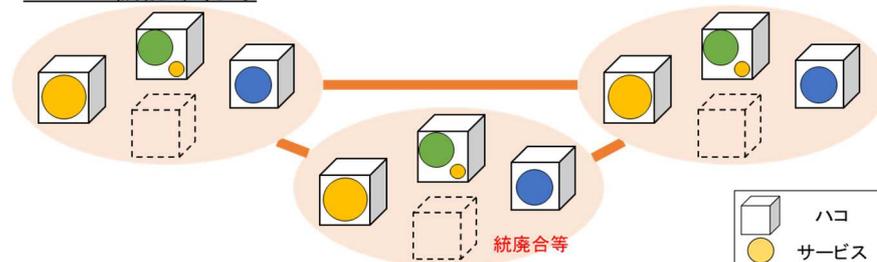
STEP2 拠点化とネットワーク化



<具体例>

機能のネットワーク化：全スポーツ施設の空き状況をネットサイトで予約
拠点化：図書館の書物を整理する実行委員会議の開催を拠点施設で開始

STEP3 機能集約等



<具体例>

統廃合等：スポーツ施設の利用頻度に応じたハコの統廃合
：図書館の拠点化とハコの統廃合

■公共施設の再編に係る手法(例)

(1) 機能や施設は必要だが、保有する施設の規模や施設数を削減する必要のある施設

<p>① 統廃合</p>	<p>・設置目的が同じである同一機能をもつ複数施設を、利用状況や近接性等を考慮して統合</p>	
<p>② 多機能化 (複合化)</p>	<p>・独立施設である必要のない施設のもつ機能を地域の拠点施設に移転し、設置目的が異なる施設を複合的に利用</p>	
<p>③ 類似機能の共用化</p>	<p>・設置目的は異なるが、会議室等の類似する機能をもつ複数施設を、利用状況や近接性等を考慮して統合</p>	
<p>④ 広域化</p>	<p>・国、県、近隣市町との広域連携により、地域外の住民も利用可能な施設を共同保有・相互利用</p>	

(2) 機能は必要だが、施設を保有する必要のない施設

<p>① ソフト化 (民間移管)</p>	<p>・施設を民間事業者に譲渡する、または施設を廃止し、市民には民間施設を利用してもらう。 ・自治会等に施設を譲渡する。</p>	
<p>② ソフト化 (代替サービス)</p>	<p>・情報通信技術等を用いることにより施設を用いないサービス提供方法へ変更する。</p>	

3-(1). 地域デザイン懇談会で生まれた公共施設へのアイデア一覧

ここでは、地域デザイン懇談会の各回で出された意見、検討した内容をもとに、公共施設をマネジメントする、すなわち面積を削減したり、費用を低減したりという観点に基づいたアイデアをとりまとめました。

豊岡市の地域デザインプランの中心をなす内容となります。

今後は、ここで整理された内容、アイデアも採り入れながら、公共施設のマネジメントが進められることとなります。

地域デザイン懇談会では、公共施設再編計画の対象施設のうち、小規模なものを除いて検討の対象としました

「参考意見」には、地域デザイン懇談会の参加者から出された意見の内、

- ・施設の維持、再編等に関するアイデア
- ・現状の利用の改善方法 等

地域デザインプランの参考となる意見を記載しています

「参考資料」には、地域デザイン懇談会などの回で出た意見をもとにアイデアなどを整理しているのかを記載しています。詳しくは市ホームページの各回配布資料をご覧ください

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	参考意見	アイデア	参考資料
大分類	中分類					
01 行政系施設	01 庁舎等	但東振興局	■手続きとかでよく行く。	【意見】 ■行政機能を各コミュニティセンターに移すことが可能な機能は移す。	【アイデア】 コンセプト:行政系機能の利用性を高める-「検討」 ■各地区の公民館に行政系機能を分散し、身近な行政サービスを高める。	第4回WSまとめ
	03 消防施設	出石分署但東駐在所	■駐在所は必要。			

豊岡市公共施設再編計画や公共施設カルテで整理されている施設分類を記載しています

「議論に至った背景・理由」には、地域デザイン懇談会の参加者から出されたその施設への意見の内、

- ・各施設の状況（ハード面）や利用実態（ソフト面）
- ・地域の中での認識度
- ・利用者、市民の施設に対する意向 等

の現在の立地条件や利用状況等、議論する上での施設の背景に関する情報、参加者の生の声を記載しています

「アイデア」には、左欄の「議論に至った背景・理由」「参考意見」をもとに検討した、

- ・公共施設の面積削減などのハード面での方向性
- ・公共施設の効率的効果的な使い方（ソフト面）
- ・市民の利用促進の方法 等

将来にわたって公共施設をマネジメントする(面積削減・費用低減等)ための市民目線、利用者目線でのアイデアを記載しています
ただし、ここでの記載は、特定の施設に関するアイデアとしてとりまとめたものではなく、施設大分類又は中分類に該当する施設に関するアイデアとして整理しています併せて「コンセプト」として、公共施設の方向性を一言で表象することとしています

3-(1). 地域デザイン懇談会で生まれた公共施設へのアイデア一覧

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	参考意見	アイデア	参考資料
大分類	中分類					
01 行政系施設	01 庁舎等	但東振興局	<ul style="list-style-type: none"> ■手続きとかがよく行く。 	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■行政機能を各コミュニティセンターに移すことが可能な機能は移す。 	<p>【アイデア】</p> <p>コンセプト: 行政系機能の利用性を高める-「検討」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■各地区のコミュニティセンターに行政系機能を分散し、身近な行政サービスを高める。 	第4回 WS まとめ
	03 消防施設	出石分署但東駐在所	<ul style="list-style-type: none"> ■駐在所は必要。 			
02 市民文化系施設	04 コミュニティセンター	合橋地区コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ■コミュニティに興味ある、イベントには参加している。 ■色々なサークル教室・習い事が開かれている(体操、バレエ、空手)。 ■資母、高橋と比べ、コミュニティセンターが小学校から離れていて子どもが使いにくい。 ■但東振興局の庁舎の中にあり、場所が分かりにくい。 ■使用条件、規約が分かりにくい。 ■安国寺付近に夏椿、ホテルのスポットもある。 	<p>【意見 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■多世代交流の場として、また、コミュニティ活動に女性が安心して参加できるプログラムを盛り込む。 <p>【意見 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■屋内運動が可能な運動プログラムを盛り込み、自宅でストレッチはしにくいので、リモートで教えてもらう。 	<p>【アイデア 1】</p> <p>コンセプト: 地区住民の交流を深める場-「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域のみんなが自由に活用できる場として、プログラムや手続きの改善等により利用価値を高める。 <p>【アイデア 2】</p> <p>コンセプト: 行政系機能の利用性を高める-「検討」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■各地区のコミュニティセンターに行政系機能を分散し、身近な行政サービス機能を高める。 	第2回 WS まとめ 第6回 WS まとめ
		高橋地区コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ■講座があり若手が育っている、女性が行きやすいように考えられている。 ■色々な活動、イベントを行っている。 →めだかの学校、体操・ピラティス、英会話 ■他の地域の人も参加している。 	<p>【意見 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■貸館利用の方法が来館して申し込みをしないとけない。ネットで空き状況や予約ができればもっと利用がしやすくなる。 		
		資母地区コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ■自主的にサークルを作り、週に 1~2 回程度活動している。 ■使い方が分からない、何ができるのか良くわからない。 ■以前、スキー場があった。子どもを遊ばせるには熊やマダニが心配。 	<p>【意見 4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■行政機能を、各コミュニティセンターに移すことが可能な機能は移す。 		
	05 文化施設	但東市民センター				
03 社会教育系施設	07 図書館	図書館但東分館	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもも大人も利用するが、子どもが大きくなって行かなくなった。 ■Wi-Fi(公衆)が自由に使える。 ■以前は図書館前のスペースに中学生が集まっていたが、今はほとんどいない。 ■図書館がバスを待つ中学生の集まるスポットにもなっていたが、少なくなった。 ■放課後にバス待ちの中学生が図書館に立ち寄るが、図書館とバス停が少し離れている。 	<p>【意見 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■図書館が中学校の敷地内にあれば、ゆっくり本を読んだり、屋根のある場所で話したりもできる。バス待ちの学生が安心してゆっくり集える場所が必要。 <p>【意見 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■授業の合間などに図書館を有効に活用していくのなら、中学校の中庭などに図書館があったらもっと活用されるのではないか。 <p>【意見 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■図書館とバス停がもっと近くにあればギリギリまで本が読める。 	<p>【アイデア】</p> <p>コンセプト: 知識や教養を高める場、交流を深める場-「移転」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■学校教育系施設を中心に教育・生涯学習ゾーンを形成し、図書館機能の移転を検討する。 	第2回 WS まとめ 第4回 WS まとめ

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	参考意見	アイデア	参考資料
大分類	中分類					
03 社会教育系施設	08 博物館・資料館	東井義雄記念館	<ul style="list-style-type: none"> ■教育関係の人が視察で来ることがあるらしい。 ■バスツアーで人が来ることもあり、但東を知ってもらえる施設。 			
		日本・モンゴル民族博物館	<ul style="list-style-type: none"> ■モンゴル博物館は日本中で一つしかない施設で、海外の地域の研究等をしている人にとっては参考になる意外に珍しい施設。 ■但東の伝承館がある。 ■モンゴルと言えばスーホの白い馬、小学校の教科書にも載っている。 ■展示や出張教育等も行っており、出張授業をきっかけに博物館を訪れる子どももいる。 ■イベント等で、資母体育館と日本・モンゴル民族博物館をセットで使うことがある。 ■工作教室等の趣味の教室も行っている。 ■地域に遊び場がなく、野生体験できる場所がないが、モンゴル博物館には子どもが遊べるスペース、芝生広場がある。 ■子育て世代の思いとして、遊べる場が少ない。SL公園(豊岡)が整備されたが、駐車場が少なく利用に困っている。駐車場とセットで考える必要がある。 ■お金を払わないとほとんどの展示物が見れない。 	<p>【意見 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■普段から人の交流ができるような使い方や、無料エリアにもっと見たいと思える展示物等を考える。 <p>【意見 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■博物館を開放的に、通りすがりでも利用しやすくドライブインのようなイメージとする。 <p>【意見 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日本に一つしかない事をアピールし、モンゴル博物館の機能を充実させ、もっと特徴ある施設として価値を高める。 <p>(但東町として)</p> <ul style="list-style-type: none"> →博物館の学芸員さんが、但東地域内の動植物の解説等をする。 →グランピングやゲル(モンゴルのゲルを模して)泊、食の機能を追加(ジンギスカン)等 →開放的に、芝生スペースに遊具を。 <p>【意見 4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■入館料を無料にし、機能充実、ゲルを利用したグランピングで収入を得る。 <p>【意見 5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日本・モンゴル民族博物館周辺を、“歴史・文化ゾーン”に →スポーツ施設(資母体育館)、レクリエーション施設(たんたん温泉移転、子どもの遊び場)、宿泊施設(グランピング、ゲル)と連携して利用価値を高め活性化を図る。 →モンゴル博物館の横に、温泉施設を建てる。宿泊と温泉(グランピング、サッカー、フィールドG、ログハウス)とセットで活性化する。 <p>【意見 6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■民間で運営もあるかも。 →レクリエーション施設として民間で(グランピング、ゲル泊等)運営する。 <p>【意見 7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■但東町時代からの建物、何とか残したい。 	<p>【アイデア 1】</p> <p>コンセプト: 地域交流の場-「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域住民の交流の場として、集まりやすく利用しやすい機能を検討し利用価値を高める。 <p>【アイデア 2】</p> <p>コンセプト: 地域の歴史・文化資源-「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日本唯一の博物館・資料館として、広く地域外の人の利用も高めるため情報発信し、機能を充実させる。 <p>【アイデア 3】</p> <p>コンセプト: 「歴史・文化ゾーン、交流拠点ゾーン」の中心施設-「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ施設、温泉施設と連携して、歴史・文化ゾーン、交流拠点ゾーンを形成する。 <p>【アイデア 4】</p> <p>コンセプト: 地域活性化の資源-「譲渡」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■レクリエーション機能や宿泊機能を誘導し、集客性を高め、民間による維持管理・運営等を検討する。 	<p>第 2 回 WS まとめ</p> <p>第 4 回 WS まとめ</p> <p>第 6 回 WS まとめ</p>

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	参考意見	アイデア	参考資料
大分類	中分類					
04 保健・福祉施設	10 健康福祉施設	但東健康福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ■社会福祉協議会、シルバー人材センター、障害者の作業所、デイサービス等が利用している。 →社協が運営管理している。 →相談に行けばすぐに来てもらえるので安心する。 ■社会福祉協議会事務所は以前、生活改善センター内にあり、大きな部屋ではなかった。 ■まちぐるみ健診(健康診断はここですべき)や、給食弁当を週3回(社協事業)、会議室としても利用しているが、知っている人が少ない。 ■貸館だと申込み手続きが必要。近隣で貸館できる全ての施設の一覧がほしい(使用条件などをまとめたものがあればもっと利用者増につながる)。 ■トレーニングジムは、平日の日中のみ、やっている。 →指導員が公務員なのだが、民間なら休日や夜間でもできるのでは。 →但東には夜間に屋内で安心して運動できる場所がない。スポーツジムが以前はあった。ウェルストークが羨ましい、屋内でスポーツができればいい。 →既に週1回は高齢者専用だがウェルストークのインストラクターが運動指導を行っている。合橋診療所等の医療機関が入ることで、医療面の機能強化が図れる。 	<p>【意見1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■社会福祉協議会事務所とデイサービスは別で考える必要がある。 →社会福祉協議会事務所は、別の建物の部屋を利用することもできるのではないか。 →以前、高橋診療所内でデイサービスをされていたので同じようにデイサービスは合橋診療所に入ってもらっても良い。 <p>【意見2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■福祉・教育ゾーンとして、但東中学校の敷地内に持って行くことも良い。 <p>【意見3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■デイサービスは但東地域の高齢者がこの先20年は減らないので無くなると困る。 <p>【意見4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■健康・福祉以外の利用もできるよう利用価値を高める。 →指導員を民間委託にして日曜日や夜間も使えるようにする。 →仕事用のレンタルルーム(テレワーク)に使えるようにネット環境を整備する。(都心部からの移住者を受け入れる等。) →敷地内に最近始まった移動販売が立ち寄れる場所があれば、デイサービス利用者が購入できる。 <p>【意見5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■貸館利用の方法は来館して申し込みをするしかない。ネットで空き状況や予約ができればもっと利用がしやすくなる。 	<p>【アイデア1】</p> <p>コンセプト: 利用性に配慮した健康福祉、医療施設の機能の統合-「統合」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■健康福祉施設の高齢者福祉機能は、医療施設に移設して、それぞれの機能に特化することで利用性を高める。 <p>【アイデア2】</p> <p>コンセプト: 健康福祉機能、学校教育系機能を集約し一帯を福祉・教育ゾーンとして形成-「検討」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■健康福祉施設は中学校の敷地内に移転し、共有可能な機能を集約する。 <p>【アイデア3】</p> <p>コンセプト: 健康福祉施設は高齢者の憩いの場-「継続」</p> <p>【アイデア4】</p> <p>コンセプト: 健康づくりを身近で支援する場-「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■健康福祉施設にスポーツジム、指導員を配置し健康福祉機能を高める。 <p>【アイデア5】</p> <p>コンセプト: 健康福祉施設を多機能な用途に転用-「転用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■空き室等をレンタルルーム等に活用し、手続きを簡素化して利用価値を高める。 	第3回WSまとめ 第6回WSまとめ
05 医療施設	14 医療施設	但東歯科診療所	<ul style="list-style-type: none"> ■歯科診療所は必要、診療所では夜間対応ができない。 			第2回WSまとめ 第4回WSまとめ 第6回WSまとめ
		国民健康保険 資母診療所				
		合橋診療所	<ul style="list-style-type: none"> ■診療所の先生が高齢で、今後が心配。 ■地区に医療機関がないことで、地区を離れるきっかけにたくない。 	<p>【意見1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■但東健康福祉センター内の社協事務所の空きスペースに移転し、デイサービスと統合する。 <p>【意見2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■医師が高齢で、いつまで運営できるか心配。但東健康福祉センターに移転する。 <p>【意見3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■社会福祉協議会事務所とデイサービスは別で考える必要がある。 →社会福祉協議会事務所は、別の建物の部屋を利用することもできるのではないか。 →以前、高橋診療所内でデイサービスをされていたので同じようにデイサービスは合橋診療所に入ってもらっても良い。 	<p>【アイデア1】</p> <p>コンセプト: 地域の医療機能の継続-「統合」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■医療施設を健康福祉施設に移転して、医療機能を高める。 <p>【アイデア2】</p> <p>コンセプト: 利用性に配慮した健康福祉、医療施設の機能の統合-「統合」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■健康福祉施設の高齢者福祉機能は、医療施設に移設して、それぞれの機能に特化することで利用性を高める。 <p>【アイデア3】</p> <p>コンセプト: 身近な医療の場-「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■医療施設を継続し医療体制を強化する。 	
高橋診療所	<ul style="list-style-type: none"> ■小児科があつて助かる。 ■小児科以外でも診てもらえる。 ■高齢者にも好評で熱心な先生。ワクチン接種もしてもらった。いこいの杜の利用者も来る。 ■診療所では夜間対応ができない(結局、救急車) 	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■救急の夜間対応をしてほしい。診療所は高橋に必要。 				

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	参考意見	アイデア	参考資料
大分類	中分類					
06 スポーツ・レクリエーション施設	16 スポーツ施設	但東スポーツ公園	<ul style="list-style-type: none"> ■今はスポーツ公園を利用しており、利用者が多く、通りすがりでも使う人がいる。 →認定こども園が多く使っている。 →遊び場は自由に使うことができる。 ■アスレチックがある、公園・遊具など、子どもが利用できる遊び場が欲しい。 →老朽化している施設(設備)がある。 →遊べる広場はあるが、遊具が不足、老朽化している。 ■町内に安全に遊べる場所が無い、熊や鹿が出没する。 	<p>【意見 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■規約をゆるやかにして欲しい。 →インターネットで予約できれば <p>【意見 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ公園、子どもが安心して遊べる遊び場の充実。 <p>【意見 3 見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■高橋地区の自然を活かしたスポーツゾーンを形成する。(山を利用した BMX(自転車競技)ゾーン等) →温泉を一体で活用する。 	<p>【アイデア 1】</p> <p>コンセプト:安心・安全に遊べるスポーツ施設-「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■誰でも使える、地域に開かれた施設として施設や規約等の改善を検討する。 <p>【アイデア 2】</p> <p>コンセプト:スポーツゾーンの形成-「検討」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ施設は、周辺自然環境を活かしたスポーツゾーンの形成とともに、一帯で利用性を高める。 <p>【アイデア 3】</p> <p>コンセプト:いつでも誰でも安心して使えるスポーツ施設-「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■天候に左右されずに多世代が気軽に使えるスポーツ施設の手続き等の改善により利用性を高める。 <p>【アイデア 4】</p> <p>コンセプト:老朽化したスポーツ施設を機能移転-「移転」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■老朽化したスポーツ施設は、同じ機能を持つスポーツ施設や学校教育系施設の体育施設に機能を統合する。 <p>【アイデア 5】</p> <p>コンセプト:地域住民の誰もが利用できる、地域に開かれたスポーツ施設-「検討」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■立地性を考慮し、将来、小中一貫校の周辺にスポーツ機能を集約化して利用性を高める。 <p>【アイデア 6】</p> <p>コンセプト:天候に左右されずに地域住民が誰でも使えるスポーツ施設-「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■老朽化したスポーツ施設は、改修して屋根のある屋外スポーツ施設として活用する。 <p>【アイデア 7】</p> <p>コンセプト:スポーツ施設は「歴史・文化ゾーン」、「交流拠点ゾーン」の形成を図る施設の一端を担う-「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ施設を博物館、温泉施設と連携した地域活性化に資する活用方法を検討する。 <p>【アイデア 8】</p> <p>コンセプト:地域住民が気軽に誰でも使えるスポーツ施設-「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ施設を誰でも使える、地域に開かれた施設として規約や維持管理手法を検討する。 	第 2 回 WS まとめ 第 3 回 WS まとめ 第 4 回 WS まとめ 第 6 回 WS まとめ
		但東健康増進センター(シルクドーム)	<ul style="list-style-type: none"> ■雨や雪の時でも使える唯一の屋内施設で、天井が低く、土の床となっている。 ■多くの高齢者が使用(GG 等)し、高齢者の集いの場となっている。 	<p>【意見 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■高齢者の行き場がなくなるので必要、健康増進のためにも施設を維持する。 <p>【意見 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「高齢者が使っている施設」というイメージを変え、多世代が誰でも気軽に使える施設にする。 →使用例、小中学生が自由に使えるように、但東ビーバーズの練習場として。 →ドッグランなど利用できるよう、規制を緩やかに。 →子どもが安心して遊べるようにできればよい。 <p>【意見 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■規約をゆるやかに、インターネットで予約ができるようにする。 		

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	参考意見	アイデア	参考資料
大分類	中分類					
06 スポーツ・レクリエーション施設	16 スポーツ施設	但東中央体育館	<ul style="list-style-type: none"> ■中央にあり、場所が良いのでみんなが利用しやすい。 ■卓球、バレー、野球、剣道、バドミントン等の利用が多い。 ■但東町としての大会は但東中央体育館を利用している。(市民卓球大会、ソフトバレー) ■但東町以外の人利用が多い。 ■文化展が以前はあった。 ■但東中央体育館は但東町全体として使用し、資母体育館は資母地区として使用するという役割があり、使い方がそもそも違う。施設の役割を住民が分かっていない。 ■但東町が豊岡市に合併したことで施設の位置づけが変わった。 ■一般の住民は利用していないのではないか。 ■老朽化して雨漏りもあり維持は難しい。 ■カーテンが古い、カーテンの修理実施済み、雨漏りがしていた。築37年 ■古いので使うなど言われている。 	<p>【意見1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■資母体育館とどちらかを残すとすると、但東中央体育館は老朽化しており維持費がかかるので、なくてもいい。 <p>【意見2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■但東中央体育館がなくなるのであれば、今後、合橋小学校が但東中学校に移転する予定があり、合橋小学校の体育館は改修をしたところなので利用したら良い。 <p>【意見3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■町内の小学校が統合となった場合、現在の中学校の体育館だけでは屋内運動施設が不足する。中学校の敷地に隣接する土地に中央体育館を移転する。 →小中一貫校のサブ体育館としても使用できるようにする。 →小中学校と体育館が隣接してあることで、子どもも大人も利用しやすくなる。 →地域に開かれた体育館とし、規約をゆるやかに(営利団体が柔軟に利用できるよう)、インターネットで予約できるようにする。 <p>【意見4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■但東中央体育館を廃止するならばその維持費を、合橋小学校体育館や資母体育館の環境(空調)整備にまわす。 <p>【意見5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■あえて屋根のある屋外施設としてリニューアルすれば、靴を履いて運動できる施設になるのでは。 	<p>【アイデア1】</p> <p>コンセプト:安心・安全に遊べるスポーツ施設ー「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■誰でも使える、地域に開かれた施設として施設や規約等の改善を検討する。 <p>【アイデア2】</p> <p>コンセプト:スポーツゾーンの形成ー「検討」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ施設は、周辺自然環境を活かしたスポーツゾーンの形成とともに、一帯で利用性を高める。 <p>【アイデア3】</p> <p>コンセプト:いつでも誰でも安心して使えるスポーツ施設ー「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■天候に左右されずに多世代が気軽に使えるスポーツ施設の手続き等の改善等により利用性を高める。 <p>【アイデア4】</p> <p>コンセプト:老朽化したスポーツ施設を機能移転ー「移転」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■老朽化したスポーツ施設は、同じ機能を持つスポーツ施設や学校教育系施設の体育施設に機能を統合する。 <p>【アイデア5】</p> <p>コンセプト:地域住民の誰もが利用できる、地域に開かれたスポーツ施設ー「検討」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■立地性を考慮し、将来、小中一貫校の周辺にスポーツ機能を集約化して利用性を高める。 	第2回WSまとめ 第3回WSまとめ 第4回WSまとめ 第5回WSまとめ 第6回WSまとめ
		資母体育館	<ul style="list-style-type: none"> ■サッカー、野球、健診、学童保育で利用している。床がラバーなので使いやすい。 ■児童保育、たんたんプレーパークでは、晴天時はたんたん温泉、雨天時は資母体育館を使用している。(しぐれ雨が降るので、イベント事業は予め資母体育館で企画することが多い。) ■使う人が減った。(バスケ・よさこい・フットサル) ■使い方がそもそも違う。 →中央体育館は但東町として。 →資母体育館は資母地区として。 ■文化施設の展示機能も担っており、日本・モンゴル民族博物館が、スペース足りない時に使っていた。(恐竜の企画展・ひな祭り等) ■資母体育館以外に広いスペースが無い。空調がなく夏は暑く、窓に網戸が無いため虫が入ってくる。 ■学童保育で利用しているので、無くすのは無理。 ■避難所になっている。避難所は、まずはコミュニティセンター、公民館、次に小学校、資母体育館の順となっている。 ■使用申請の手続き先や鍵の取扱いが分かりにくい。 ■資母小学校の体育館もあるのに、資母体育館があるのはなぜなのか分からない。 	<p>【意見1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■資母地区の多くの人が使っているので、無くせない。 <p>【意見2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■但東中央体育館が無くなるのであれば、これまでの維持費分で空調機能を付けるなど、環境整備や機能を良くして価値を高める。 <p>【意見3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■隣接するたんたん温泉と日本・モンゴル民族博物館はセットで活用する。 <p>【意見4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■規制をゆるやかにし、インターネットで予約をできるように。 <p>【意見5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■子どもが安心して遊べるように。 	<p>【アイデア6】</p> <p>コンセプト:天候に左右されずに地域住民が誰でも使えるスポーツ施設ー「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■老朽化したスポーツ施設は、改修して屋根のある屋外スポーツ施設として活用する。 <p>【アイデア7】</p> <p>コンセプト:スポーツ施設は「歴史・文化ゾーン」、「交流拠点ゾーン」の形成を図る施設の一端を担う。ー「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ施設を博物館、温泉施設と連携した地域活性化に資する活用方法を検討する。 <p>【アイデア8】</p> <p>コンセプト:地域住民が気軽に誰でも使えるスポーツ施設ー「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ施設を誰でも使える、地域に開かれた施設として規約や維持管理手法を検討する。 	

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	参考意見	アイデア	参考資料
大分類	中分類					
06 スポーツ・レクリエーション施設	17 レク施設	但東自然の郷				
		但東自然ふれあいセンター「やまびこ」	<ul style="list-style-type: none"> ■運営主体が変わって客層も変わった。(以前はなぎなたのグループ等の団体も来ていた) ■おもてなしの方法が変わった。 ■学生の団体が合宿等で利用している。 			
	18 温泉施設	但東シルク温泉館	<ul style="list-style-type: none"> ■収入がある。 ■合併して地域住民向けの割引がなくなった。1年間に5回分のタダ券があった。 ■回数券があるが地域の人はあんまり利用していない。 ■たんたん温泉とシルク温泉館は性格が違う。 ■「ふるさと創生」でつくられたもの。 	<p>【意見1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■今の場所に定着しており、施設は必要。 <p>【意見2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■移動販売ができるフリースペース(生産者が作った物を売る)、送迎サービスがあれば。 <p>【意見3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■外からの客だけでなく、高齢者をターゲットに。 <p>【意見4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■入浴だけでなく、運動など交流の場になれば。 	<p>【アイデア1】</p> <p>コンセプト:温泉施設を地域の観光資源にー「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■温泉施設にレクリエーション機能や交流機能、販売機能を付加する等、集客機能を高め施設の継続を検討する。 <p>【アイデア2】</p> <p>コンセプト:地域住民のレクリエーションの場ー「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域住民が利用しやすい施設として手続きや管理・運営を検討する。 <p>【アイデア3】</p> <p>コンセプト:「歴史・文化ゾーン、交流拠点ゾーン」の一端を担う施設ー「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■温泉施設にアウトドア・観光・宿泊・販売等の機能を付加する等、集客機能を高める。 <p>【アイデア4】</p> <p>コンセプト:地域活性化施設ー「譲渡」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■民間による施設の維持管理・運営方法を検討する。 	<p>第2回WSまとめ</p> <p>第3回WSまとめ</p> <p>第4回WSまとめ</p> <p>第5回WSまとめ</p> <p>第6回WSまとめ</p>
たんたん温泉 福寿の湯		<ul style="list-style-type: none"> ■たんたん温泉下のプレーパークは反響が大きい(出石の住民も参加している)。 ■プレーパークが開いていると、人が来たりする。 ■きれいな小川が流れている(オオサンショウウオがいる) ■地元住民の雇用の場となっている。 ■森のレストランが人気で、こういう機能が付いていると良い。 ■久美浜(京丹後市)等からのアクセスが良い。 ■昔は「温泉券」が配られたこともある。 ■地域の声を聞いて「地域貢献」に配慮する義務がある。 ■日帰りは地元の人が多く、カフェができてから人も車も多くなったが、駐車場や飲食するスペースが狭いので、もっと広いところへ。 	<p>【意見1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域に開かれた温泉とする。 <p>【意見2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■モンゴル博物館と組み合わせたイベントを考えたらどうか。 ■裏山のライトアップやBBQ等のスペース、オートキャンプ等とセットとしたら利用が増えるのでは。 ■移動販売ができるフリースペース(生産者が作った物を売る)、送迎サービスがあれば。 <p>【意見3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■民間にやってもらうのもありかも。 <p>【意見4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■温泉の源泉は高龍寺なので坂野(高い場所へポンプアップする経費が削減)ではなく、温泉を道路整備と合わせてパイプでモンゴル博物館の横につなぎ、温泉施設を建てたら良い。施設が増えて初期投資がかかるが、泊と温泉とセットで活性化させたら良い。 			

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	参考意見	アイデア	参考資料
大分類	中分類					
07 産業系 施設	19 産業系 施設	但東地域特産物加工施設	<ul style="list-style-type: none"> 合橋特産物研究所、きな粉飴、花びらジャム(バラ・桜)を作って販売している。 許可施設(専用施設)。 経営主体があり、外部から口出しできない。 指定管理者等がいて、経営を考え安定供給のために他の地域から素材を求めているが、地域特産物を活かすという趣旨とは違う。 古い、傷んでいる、餅撒きの餅がつけない。 合橋の方でないと分からない、使われていない? 建物や調理器具が老朽化している。 現在、花びらジャムや、きな粉飴作りは合橋地区コミュニティセンターで行われている。 	<p>【意見 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特産物加工施設を、中学校の旧給食センターに移転する。 <p>【意見 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが地域の特産品を知れる機会になる。 <p>【意見 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体性がないと残れないので無くして、合橋地区コミュニティセンターを利用したら。 <p>【意見 4】</p> <ul style="list-style-type: none"> 隣の健康福祉センターにも厨房があり、そちらと統合できないか。 		
		但東農産物加工施設	<ul style="list-style-type: none"> 何をしている施設なのか分かりにくい。 経営主体があり、外部から口出しできない。 指定管理者等がいて、経営を考え安定供給のために他の地域から素材を求めているが、地域特産物を活かすという趣旨とは違う。 会社として利用・活用している。味蔵(あじくら)が管理。 個人経営みたいな感じ。高齢化している。 お小遣い程度の収入なので若い人が参加しづらい。 いこいの杜とは性質が違うので一緒にはできない。 毎日活動されている。 	<p>【意見 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> もっとオープンに地域の声を聞いたら。 情報発信、広告掲載をしたら。 <p>【意見 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間になると固定資産税がかかるが、そんなにかからないだろう。 発展するためには自分たちで経営を頑張らないといけない。 <p>【意見 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 急に民間で頑張れと言われると進まないから、徐々に譲渡する。 	<p>【アイデア 1】</p> <p>コンセプト: 地域産業の維持・振興—「移転」</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化した産業系施設は、類似機能を持つ市民文化系施設や学校教育系施設に機能移転を検討する。 <p>【アイデア 2】</p> <p>コンセプト: 地域産業の継続—「継続」、「譲渡」</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設を維持管理していくために、民間運営も含め、維持管理・運営方法を検討する。 	<p>第 2 回 WS まとめ</p> <p>第 3 回 WS まとめ</p> <p>第 4 回 WS まとめ</p> <p>第 5 回 WS まとめ</p> <p>第 6 回 WS まとめ</p>
		そば乾燥調製貯蔵施設	<ul style="list-style-type: none"> そば乾燥貯蔵施設は「但東そば生産組合」が運営しており、売り上げ利益は出ている。 経営主体があり、外部から口出しできない。 指定管理者等がいて、経営を考え安定供給のために他の地域から素材を求めているが、地域特産物を活かすという趣旨とは違う。 	<p>【意見 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ソバはおいしいが、自分たちで運営しては。 徐々に民間に譲渡する。 <p>【意見 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> たんたん温泉にあった方がいい? 		
		但東地域活性化センター(赤花そばの郷)	<ul style="list-style-type: none"> 経営主体があり、外部から口出しできない。 指定管理者等がいて、経営を考え安定供給のために他の地域から素材を求めているが、地域特産物を活かすという趣旨とは違う。 	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 徐々に民間に譲渡する。 		

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	参考意見	アイデア	参考資料
大分類	中分類					
08 学校教育系施設	21 中学校	但東中学校	<p>(課題として)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小学校が統合して、教育・生涯学習ゾーンとなった場合の課題。 →テニスコートはあるけどプールはないの？ →中学生の図書館の利用は？ →小中学校の位置関係は。 →中学校が一緒だとメリットが高いかも。 →小中学校の交流は一緒だとしやすい。 →中学生が遊んでいない。 ■放課後にバス待ちの中学生は図書館に立ち寄るが図書館とバス停が少し離れている(近くにあればギリギリまで本が読める)。 	<p>【意見 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■旧給食センターには調理器具が残っているので利用する。 ■プールが無いので整備する。 ■テニスグラウンドが利用されていないのでスペースを利用する。 ■いずれも町内の小学校が統合になった時。 <p>【意見 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■認定こども園、小学校の統合にあわせて、課題(旧給食センターの調理器具の利用、テニスグラウンドの有無、プール増設)を整理する。 <p>【意見 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■図書館が中学校の方にあったら・・・。 →バス待ちの学生が安心してゆっくりと集える場所が必要では。 →図書館が敷地内にあれば、ゆっくり本を読んだり、屋根のある場所で話したりもできる。 	<p>【アイデア 1】</p> <p>コンセプト: 学校教育系施設として充実した施設整備 -「継続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■中学校として必要な附帯施設を整備する。 <p>【アイデア 2】</p> <p>コンセプト: 地域産業の維持・振興-「移転」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■老朽化した産業系施設は、類似機能を持つ市民文化系施設や学校教育系施設に機能移転を検討する。 <p>【アイデア 3】</p> <p>コンセプト: 知識や教養を高める場、交流を深める場 -「移転」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■学校教育系施設を中心に教育・生涯学習ゾーンを形成し、図書館機能の移転を検討する。 	<p>第 4 回 WS まとめ 第 5 回 WS まとめ 第 6 回 WS まとめ</p>
	22 小学校	合橋小学校	<ul style="list-style-type: none"> ■合橋小の場所がいまいち。 	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■今の場所だとコミセンとの距離がある。 ■合橋小学校と高橋小学校が来年度末に統合するが、集える場所が希薄。 →当面、学校と地域とが交流できる場づくりについて考えていかなければならない。 	<p>【アイデア 1】</p> <p>コンセプト: 小学校は地域交流拠点の場-「移転」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小学校の統廃合にあわせて地域の交流拠点とし、コミュニティセンター機能を移転する。 <p>【アイデア 2】</p> <p>コンセプト: 小学校跡地は地域活性の場として活用 -「譲渡」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小学校跡地は民間利用を含めて地区で活用を検討する。 	<p>第 1 回 WS まとめ 第 2 回 WS まとめ 第 4 回 WS まとめ 第 6 回 WS まとめ</p>
		高橋小学校	<ul style="list-style-type: none"> ■小学校の行事に交通手段がない。 ■統廃合の話があり、交通手段を考えて欲しい。 ■こども園も含めて今後の使い方を考えないといけない。 	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小学校跡が若いお母さんの職場になったらいい。 ■小学校にコミセン、いこいの杜など集めて入れたらよい。 ■できたら地域で使いたい。 ■会社(企業)が来て雇用が生まれたらよいが、住民が自由に使えなくなるのは困る。 		
		資母小学校	<ul style="list-style-type: none"> ■資母小学校の体育館は、資母体育館の半分しかない。 ■学校区どうし距離がある。一概に扱ってほしくない。 			

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	参考意見	アイデア	参考資料
大分類	中分類					
09 子育て支援施設	26 こども園	合橋認定こども園	■児童数が減少している。			第1回 WS まとめ
		高橋認定こども園				
		資母認定こども園	■送り迎えは親やおじいちゃんおばあちゃんがしているが、遠くなるとそれもできなくなり、住む人が少なくなり子どもも減る。			
	27 放課後児童クラブ	合橋放課後児童クラブ(合橋小学校内)	■児童数が減少している。			第1回 WS まとめ
		高橋放課後児童クラブ(高橋小学校内)				
		資母放課後児童クラブ(資母体育館内)	■結構、人数が増えている、2年前は20人を超えていた。			
	28 その他子育て支援施設	但東子育てセンター				
10 公営住宅	29 公営住宅	出合住宅	■但東地域にある市営住宅は入居率が高く、空きが少ない。コロナ禍で移住のニーズがあっても住む場がない。			第1回 WS まとめ
		矢根住宅				
		小谷住宅(特公賃)				
		出合市場住宅				
		出合第2住宅				
		久畑二ノ宮住宅				
		畑山住宅				
		中山向町住宅				
		赤野住宅	■赤野住宅は空いている。			
		如布住宅	■如布住宅は埋まっている。			
		中山向町移住促進住宅				
		赤野移住促進住宅				

【総論】

- ・施設の利用率や維持管理費といった視点のみではなく、地域の歴史や文化、立地に配慮し、地域活性化という観点も含め「ゾーニング」という考え方を取り入れた。
- ・統廃合予定の小中一貫校の位置を想定し、そこに集約した方が良い機能、分散した方が良い機能という視点で検討したが、結論には至らなかった。
- ・スポーツ施設に関連し、周辺一帯の自然環境を活かした新たなスポーツゾーンを形成するという、公共施設という観点から少し離れた話題が提案された。
- ・地域デザイン懇談会の目標に向け、懇談会で生まれたアイデアに対して今後も話し合いを継続する必要がある。